

# 年間指導計画

教科	理科	科目	地学基礎	履修対象年次	3年次	単位数	2単位
科目担当者		豊田・増淵					
身に付けられる力		地球や宇宙に関する基礎学力・探究力・科学的な見方や考え方・論理的考察力・分析力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学 期	4	4	I. 天文 太陽 太陽の活動が地球に与える影響 恒星の進化 宇宙の成り立ち	①宇宙に関心や探究心を持ち、時にはICT機器を利用しながら、具体的なイメージを持つ。 ②宇宙についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 ③宇宙の学習を通じ、問題を見出し、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、事象にもとづいて科学的に判断できる。	1 宇宙に対する探究力 2 科学的な見方や考え方 3 事象に関する論理的な思考力 4 データ分析力 5 宇宙についての基本的な概念や原理・法則の理解と知識		
	5	8					
	6	8	I. 天文 太陽系を構成する惑星の特徴 太陽系の成り立ち 固体地球の成り立ち				
	7	4					
	8						
2 学 期	9	6	II. 固体地球 プレートテクトニクス 火山活動とその影響 地震活動とその影響	①地球に関心や探究心を持ち、時にはICT機器を利用しながら、具体的なイメージを持つ。 ②地球についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 ③地球の学習を通じ、問題を見出し、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、事象にもとづいて科学的に判断できる。	1 地球に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 事象に関する論理的な思考力 4 データ分析力 5 地球についての基本的な概念や原理・法則の理解と知識		
	10	8					
	11	8	III. 気象と海洋 大気の循環 日本の気象現象				
	12	6					
3 学 期	1	6	IV. 自然と人間 自然災害 環境の変化	①1, 2学期の学習をもとに、現在地球環境が抱える諸問題について関心を持ち、科学的な判断力を育てる。 ②1, 2学期の学習をもとに、現在日本が抱える自然災害に対する知識と防災の意識を具体的に育てる。 ③ペアやグループで互いの意見や見方を共有し、環境保護と防災の意識を育てる。	1 自然と人間の関係に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 事象に関する論理的な思考力 4 データ分析力 5 環境についての基本的な概念や原理・法則の理解と知識		
	2	8					
	3	4					
合計時数		70					
教科書 副教材	『改訂 高等学校 地学基礎』第一学習社、『改訂 ネオパルノート地学基礎』第一学習社、『フォトサイエンス地学図録』数研出版						
評価の観点・方法	授業の取り組み（質問や回答状況、授業態度、遅刻欠席数、課題の提出状況等）、小テストや定期考査等の試験成績、などを用いて、「学習意欲・姿勢」「習得の程度」「科学的思考力」などを総合的に評価する。						
履修上の注意点	2年次、3年次に「物理基礎」を履修していないものは、必ず履修すること。						
特記事項等	なし						